

救助・防災演習②		演習	准教授 古川 慎太郎 講師 清家 洋 講師 田口 弘茂 助教 水上 治彦	
科目カテゴリー	救急救命士コースの専門分野科目	科目ナンバリング	13391105	

1. 授業のねらい・概要

救助・防災活動を行うための基礎知識・技術、規律、協調性、判断力、行動力等を修得することをねらいとする。

2. 授業の進め方

屋外または屋内での実動訓練を中心に授業を展開する。授業への取り組み姿勢に応じたグループ分けを行い、安全かつ効率的な授業展開を行う。なお、安全管理や部隊活動に係る留意事項について繰り返し指摘される学生については、危険を伴う訓練には参加させない（見学のみとする）。

3. 授業計画

1. オリエンテーション（授業の目的・進め方）	9. 救助資器材の特徴①（ロープ・スリング）
2. 規律訓練①（礼式の基本）	10. 救助資器材の特徴②（カラビナ）
3. 規律訓練②（編成・隊形・整頓）	11. 救助資器材の特徴③（制動器具）
4. 規律訓練③（停止間の動作）	12. 救助資器材の特徴④（安全帯）
5. 規律訓練④（行進間の動作）	13. 降下①（座席懸垂：基本）
6. 規律訓練⑤（方向変換・隊形変換等）	14. 降下②（座席懸垂：基本反復）
7. 規律訓練⑥（総合）	15. 総括（想定訓練）
8. 効果測定	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

適宜提示する事項に関する事前学習、授業内容の振り返り、資料整理、自主練習等を行う必要があり、各授業につき90分程度を要する。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

口頭や資料提示等により、個別または授業中の講義を通じて行う。

6. 授業における学修の到達目標

- 1) 救助・防災活動における安全管理の重要性について理解を深め、現場活動に必要な基本知識・技術を習得する。
- 2) 救助・防災活動を行う上で不可欠な規律を身に付ける。

7. 成績評価の方法・基準

平常点（60%）および第15回の授業で実施する想定訓練における活動状況（40%）により評価する。
なお、平常点は、出席状況・授業態度・積極性・協調性・判断力・行動力等を踏まえて総合的に評価する。

8. テキスト・参考文献

適宜指定する資料

9. 受講上の留意事項

本科目は、本コースの全学生が履修しなければならない。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当有無

該当する。本授業は、公的機関等における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。